

## 新斎場の整備について

### 1 特定事業契約

新斎場は、津市新斎場建設整備計画に定めた7つの基本方針に基づき、故人と遺族の最後の別れの間として、また、利用者の心情に配慮した施設として整備します。

施設整備に当たっては、PFI手法により平成24年11月に選定した事業者が設立する特別目的会社と特定事業契約を締結し、平成27年1月に供用を開始します。

### 2 契約予定事業者等

#### (1) 契約事業者

津市栄町二丁目473番地

PFI 津市斎場株式会社

代表取締役 東 裕高

#### (2) 契約期間

契約締結の日から平成42年3月31日まで

#### (3) 契約金額

5,691,908,250円

(うち取引に係る消費税額及び地方消費税額271,043,250円)

### 3 提案の概要

#### (1) 施設に関する事項

施設は、平屋建てとして低層化するとともに曲面した屋根により圧迫感を抑えた穏やかな雰囲気施設の施設にします。曲面した屋根にはステンレス鋼板を用い、耐久性と長期間のメンテナンスフリーにより維持管理経費を軽減します。

また、耐震性に優れた安全な施設にするとともに、高齢者や車いす利用者、障がい者など誰もが利用しやすいユニバーサルデザインを採用します。

火葬・待合棟は、隣接住宅地から最も遠い位置に配置し、葬儀棟は来場者の利便性に配慮して出入口近くに設置します。

#### ア 施設概要（3－参考2）

##### (7) 構造

鉄筋コンクリート造

(イ) 建築面積

4, 690. 58㎡

(ロ) 延床面積

4, 828. 98㎡

(エ) 火葬・待合棟

火葬炉12基（内大型炉2基）、動物炉1基、エントランスホール、告別・収骨・炉前ホール4室、動物炉利用者室、霊安室、個室の待合室6室、待合ロビー・キッズルーム・授乳室・更衣室・喫煙室各2室、救護室、売店等

(オ) 葬儀棟

葬儀式場・遺族控室・宗教関係者控室各2室等

(カ) その他

回想の廊下（葬儀棟から火葬・待合棟への通路）、光庭、駐車場、緑地公園等

イ 火葬・待合棟、葬儀棟

(ア) 火葬・待合棟の諸室を2つのユニットに分け、利用者の受入れを分散して混雑を回避し、動線を短縮します。

エントランスホール、告別ホールは、遺族の心情に配慮して全体を広く余裕を持たせた空間とします。

さらに、利用ニーズが高い午前11時から午後2時の混雑時に対応できるよう、和・洋室の個室6室を可動間仕切りにより最大12室として利用します。個室の利用に際しては、防音性の高い間仕切りによりプライバシーに配慮します。

また、キッズルーム、授乳室、売店等を併設し利便性・快適性を向上させます。

なお、告別ホールは、直葬など今後の葬儀の在り方に配慮して、告別ホール内で葬儀ができるよう考慮します。

(イ) 葬儀棟には、家族葬や通夜ができる式場等を2室設置します。

利用者の利便性を向上させるため、布団等のレンタルや洗面用具等の販売を行います。

(2) 維持管理業務に関する事項

ア 施設維持管理では、施設の長期管理修繕計画を作成し定期的な点検を

行うほか、予防保全に努めます。修繕等へ即応し、時間をかけないことで質の高いサービスの継続と施設の長寿命化を図ります。

また、施設の長期利用を前提に事業終了前には、補修や部品の更新を集中して実施することで、施設を良好な状態で引き継ぎます。

イ 施設維持管理体制は、利用状況に応じて必要な人員を確保し、質の高いサービスを提供します。

### (3) 運營業務に関する事項

ア 火葬利用が集中する午前 11 時から午後 2 時までの時間帯に、より多くの火葬ができる受入体制を設定し、利用者のニーズに応じます。

イ 予約受付をシステム化し、その情報を火葬炉制御システム及び案内表示システムと連動させてスムーズな受入れを行い、効率的な運営を図ります。

ウ 利用者の受入れから退場までを同じスタッフが責任を持って対応することで、遺族や会葬者の心情に配慮します。

エ 内線電話による待合室からの売店への注文、受付事務所への連絡等で利用者の利便性を高めます。

また、キッズルームには、テレビ・絵本などを備え、子どもと一緒に快適な待ち時間を過ごせるようサービスの向上を図ります。

オ 施設職員が不在となる夜間においてもコールセンターを設置し、利用者の問い合わせに対応します。

カ 運営体制は、その日の利用状況に応じて必要な人員を確保し、質の高いサービスを提供します。

## 4 地元経済への貢献

### (1) 人材雇用等

ア 維持管理・運營業務に係る人員の採用に当たっては、ハローワーク等を通じて津市内の在住者を雇用します。

イ 備品や消耗品の購入は地元企業から調達するとともに、木材等の市産材も積極的に活用します。

### (2) 地元企業への発注

地元構成員 6 社と地元下請企業（設計・建設・維持管理・運営を含めた企業） 61 社等に総額で約 27 億円が発注されます。

### (3) 地域との連携

ア 周辺道路の清掃などを定期的実施し、周辺の美化に努めます。

イ 地域の防災訓練等に参加し地域住民との連携を図るとともに、災害非常時には迅速な支援を行います。

5 今後のスケジュール

|       |     |                    |
|-------|-----|--------------------|
| 平成25年 | 3月  | 契約の締結              |
|       | 4月～ | 既存施設の解体撤去、施設の設計・建設 |
| 平成26年 | 8月  | 斎場の名称の設定           |
|       | 12月 | 施設の引渡し             |
| 平成27年 | 1月  | 供用開始               |
| 平成42年 | 3月  | P F I 事業の終了        |
|       | 4月～ | 事業総括評価の後、継続して運営    |



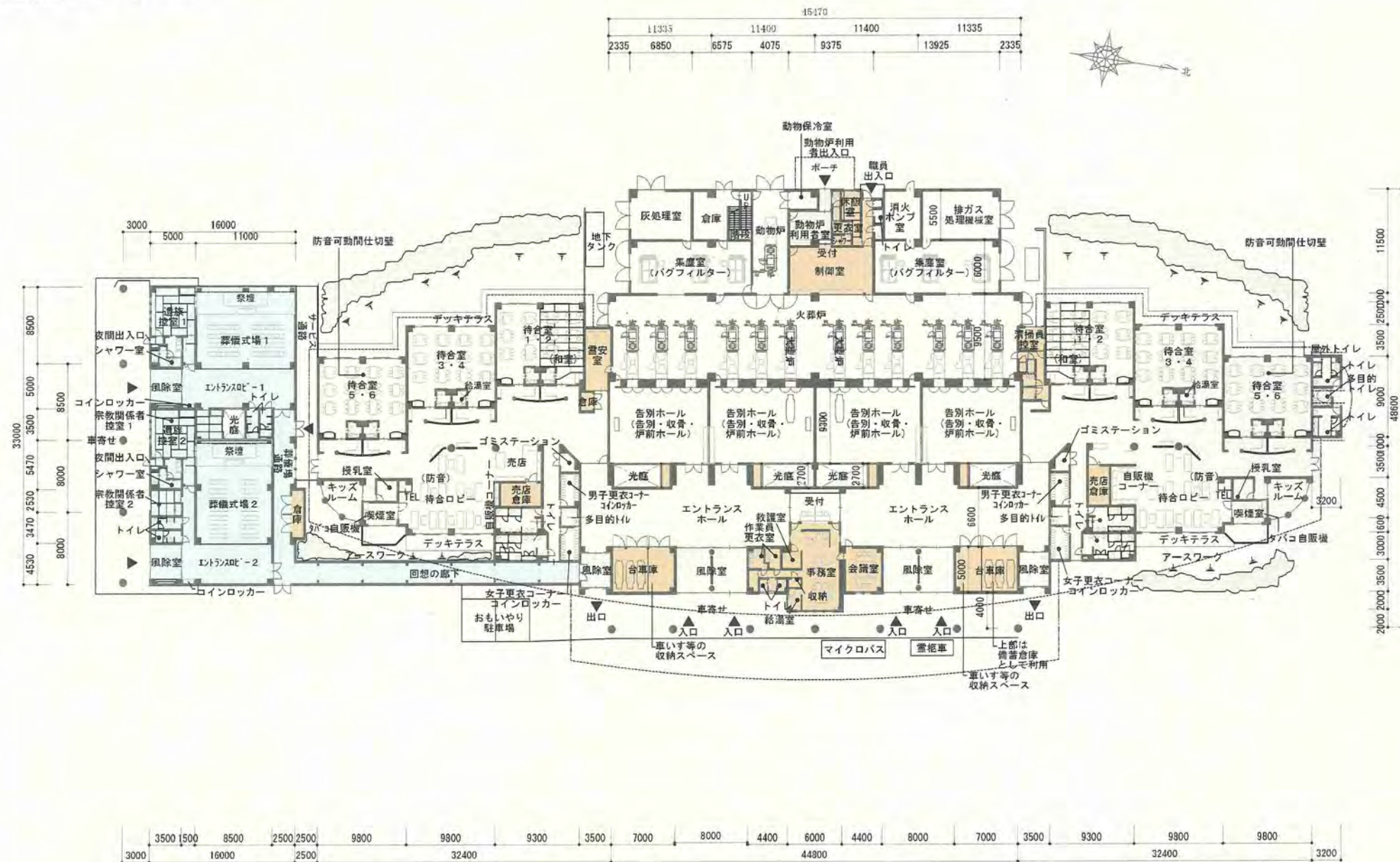
鳥瞰図（敷地全体）



土地利用計画図



建築計画図(平面図)



# 建築計画図(立面図)



東立面図



南立面図



北立面図



西立面図

エントランスホール



告別・収骨・炉前ホール



待合室



待合ロビー



葬儀式場

